

承認	議長	副議長	事務局長	次長	合議	担当
					 	

様式第 1 号

令和 7 年 7 月 4 日

真庭市議会

議長 長尾 修 様

真庭市議会議員

吉原 啓介



調査研究、研修会、要請・陳情活動届

政務活動費を使用して、下記のとおり研究、調査等を行うことについて届けますので、承認願います。

記

- 1 区 分 調査研究 研修会 要請・陳情活動
- 2 訪 問 先 東京ビッグサイト
- 3 内 容 自治体総合フェア2025（第29回） 見学及び講演聴取
- 4 行 程 別紙のとおり
- 5 事務局から訪問先への依頼 必要 ・ 不要

(注) 複数の議員で実施する場合、代表者の届けでよいが、参加議員名簿を添付すること。



行程表

令和7年7月15日	移動日	17:25	岡山空港（※真庭→空港は自家用車）	ANA
		18:50	羽田空港	
		19:20	羽田空港第2ターミナル	東京モノレール
		19:42 19:46	浜松町	JR
		20:29	北浦和	
令和7年7月16日 令和7年7月17日	移動	8:40	北浦和	JR りんかい線
		9:46	国際展示場	
	東京ビッグサイト	10:00～ 17:00	自治体総合フェア2025（第29回）	
	移動	17:25	国際展示場	りんかい線 JR
		18:19	北浦和	
	令和7年7月18日	移動日	9:43	北浦和
10:25 10:30			浜松町	
10:48			羽田空港第2ターミナル	東京モノレール
11:55			羽田空港	ANA
13:10			岡山空港（※空港→真庭は自家用車）	
※宿泊 さいたま市浦和区北浦和5-3-3 A-812（留守宅） 080-5006-8389				

報 告 書

令和 7 年 7 月 18 日

真庭市議会議長 長尾 修 殿

報告者 真庭市議会議員 氏名 吉原 啓介



下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究・研修会・要請陳情活動をいたしましたので、その結果を報告いたします。

記

1. 参加イベント

自治体総合フェア 2025

2. 日時

令和 7 年 7 月 16 日 (水) 10 時～17 時

令和 7 年 7 月 17 日 (木) 10 時～17 時

3. 場所

東京ビッグサイト

4. 面談相手先 (主なもの)

①株式会社はちまんたいジオパワー

岩手県八幡平市は、豊富な地熱を利用した地熱発電により、地域の再エネ電力自給率約 1,500%という驚異的な数値を誇っている。

地域電力会社である株式会社はちまんたいジオパワーは、既に地域内の事業者向け電力供給を行っており、今後、地域外への余剰電力販売や一般への供給にも取り組んでいきたいとのこと。

送電施設等の利用・契約形態がどうなるのか等の詳細までは確認できなかったが、真庭市における地域新電力会社が目指すところにも合致することから、事例としてより掘り下げた研究に値するものと考えます。

②ジオテクノロジーズ株式会社

人流データ分析サービスの提供。以前話を聞いたパシフィックコンサルタントの提供するサービスは、携帯電話の位置情報や検索サイトの検索履歴データを利用した人流分析であったのに対し、こちらは登録アプリを利用した人流分析となる。



アプリを通じたアンケート等により、行動経路だけではなく行程の動機や決定要因等、より掘り下げた分析も可能とのこと。

さらには、アプリ登録者の年齢、性別、居住地その他属性毎の行動分析もできる。

収集されたデータ分析結果は画面の地図上に動く点などで表示され、視覚的に認識できるので大変わかりやすい。

問題は、こういうデータを手に入れてもそれをどう活用するか、何に活かすのか、利用する側の資質・能力次第。

③株式会社小田急エージェンシー

小田急電鉄系の広告・情報発信会社。

簡単に言えば都市部と地方を結ぶ関係人口づくりを推進する、そのためのお手伝いをします、というサービスだが、都市部からの距離やアクセス、地方の側の地域特性、地域の状況等によって6種類の交流モデルを示しており、それぞれ個別の事象・ニーズに応じてカスタマイズした交流モデルを提案できるというのがセールスポイント。

いまのところ関東甲信越エリアがメインだが、今後西日本にも目を向けていきたいとのこと。

④株式会社ゼネラルリンク

文字情報ばかりになりがちな自治体広報、情報発信をより分かりやすく、あらゆる世代に届かせるには、視覚的なもの、デジタルデータを活用したもののほうがより効果的、ということから、伝えたいことを漫画化して配信するサービスのサポートを行っている。

真庭市には情報発信プラットフォームとして「まにアプリ」というものが存在することを説明したところ、逆に大変興味を示されたので、近日中にあらためてオンラインで話をする予定。

⑤イマジネーション株式会社

障がい者（特に精神障がい者）雇用促進のため、データ入力作業を徹底的に省力化・単純化できるソフトウェアの開発・提供を行っている。

デモ画面を見せてもらったが、たしかに普通の人であれば間違いようがないほど簡単な画面構成、入力方法になっていた。さらに、自分が行った作業の正確性等もスコアとして現れてくるので、作業者自身が成果と習熟度を実感できるようになっている。

在宅作業にも対応しているので、ひきこもり支援等にも使えるのではないかとと思われる。

⑥一般社団法人小金井観光まちおこし協会

生産緑地の規制期限がまもなく終了を迎えるにあたり、東京都は急激な宅地化を防ごうと、生産緑地の農地としての機能を継続させていくため

市民農園としての活用を推進しようとしている。

小金井市には生産緑地が多く、また地理的にも多摩地域の入り口のような位置であり、都民が気軽に利用できる市民農園として敵地であることからこのような取り組みのモデルとしているようだ。

都内、都下であれば世田谷区や狛江市、武蔵野市、三鷹市、さいたま市の見沼地区なども同じような活用は検討できるはずだが、いずれも休日の趣味としての土いじりの域を出るものではない。ただ、プロジェクト主催者の話では、農作業そのものより、農園利用者間のコミュニケーション増進という面での意義が大きいとのことであった。

思い切って地方で田んぼを借り、年に数回作業に来るというメニューも考えられないか提案した。

⑦公益社団法人ふるさと回帰・移住交流推進機構

有楽町交通会館にあるふるさと回帰センターと八重洲の移住交流推進機構が合併し、あらたに一つの団体として活動を始めた。

交通会館の建て替えも検討されていることから、活動内容や拠点等も変わっていくことが予想されるが、移住や地方での就業、地域おこし協力隊等との連携という基本線は変わらないとのこと。

⑧内閣府 地方創生推進事務局

構造改革特区、総合特区、国家戦略特区といった特区制度の説明や実際に制度を活用した自治体の取り組み例の紹介を行っていた。

担当者は、地方自治体からの出向者が多く、その点ではキャリア系の視点とは違う相談も可能なのかもしれない。

霞が関・永田町における真庭市の知名度はやはり高い。（ただし、すぐ隣の虎ノ門では極めて低い。）

5. 所感

今回はより規模の大きな「自治体・公共 Week」を議会会期の関係で視察できなかったため、こちらの総合フェアの視察となった。出展者数もかなり少なかったが、その分、各コーナーでいろいろな話を聞くとともに、真庭市の情報紹介もできたので、今後の視察や連携等へのきっかけづくりにはなったのではないかと思う。

収集した情報や詳細資料については関係部局と共有し、市の業務改善や住民福祉向上、地域経済活性化に向けた提案を行うとともに検討を働きかけたい。

以 上